

第 66 回全国高等学校 PTA 連合会千葉大会報告

嚶鳴 P T A 会長 星川 拓一

平成 28 年 8 月 25 日、26 日に千葉県千葉市「幕張メッセ」にて、メインテーマ「再発見！愛」のもと第 66 回全国高等学校 PTA 連合会千葉大会が開催されました。当校からは、三澤校長・細谷事務局長・PTA 会長・副会長（2 名）の計 5 名で参加いたしました。初日は明石千葉敬愛短期大学長の基調講演「高校生の自立を支援する PTA 活動の在り方」、その後各分会での PTA 活動報告・質疑応答がありました。

基調講演「高校生の自立を支援する PTA 活動の在り方」では、現代の変化の激しい環境において子供たちの自立をサポートする事が必要であり、自立とは基本的な生活習慣をつける事、学校と地域の橋渡しが PTA の役割であるなど、PTA 活動において大変参考になる基調講演でありました。

また、分科会においては「学校教育と PTA グローバル化に対応した資質・能力を育む」という題で 4 校の P T A 活動が発表されました。

グローバル化と言っても地域によって大きく異なります。しかし、基本は地域社会との関わり方から始まります。その地域社会との関わりは P T A によってサポートされます。学校・家庭・地域のトライアングルが重要と言う内容でありました。

今回の大会では、「自立」というキーワードが多く環境の激しい現代において、一人の人間として自立することが大変である事（地域差はあるが）そして、P T A の役割が大変重要だと言う事を感じた大会であったと思います。

